

\ 子どもはまちの宝物！ /

第30回子どもまつり 実行委員長 佐藤 よう子さん

ながよじ共和国



**子どもまつりって
どんなイベントですか？**

今年で30回目となり、節目の「子どもまつり」は、年に1度、1日限定で子どもたちが自ら独立国（なかよし共和国）を建国し、それそれがイベントとなつた「子どもまつり」となつた。実際に大統領も子どもたちで選びますし、警察や銀行なども本当に子どもたちだけで運営されているんですよ。

**子どもまつりを終えた
率直な感想は？**

やっぱり、無事に事故なく終えられてよかつたということです。ここ数年は、市内だけでなく芦別・歌志内の子どもたちも縁あって出店してもらっています。地域の枠を越えて、子どもたちが楽しそうに交流する姿を見ることができたので、安心しました。

**これまで印象的だった
できことは？**

もうかれこれ30年以上、たくさんのお子さんと関わっているので、過去に出会つた子どもが

親になって、子どもを連れてイベントに遊びに来てくれるこ

があります。そのときは、なんとか孫に会えたような気持ちになつて、とても嬉しくなります。

**最近のお子さんを見て
感じることはありますか？**

そうですね、最近の子どもたちは、以前と比べて自己主張ができる半面、自己肯定感が低い子どもが多いと思います。みんな一人ひとりに個性や特徴があるからこそ、長い時間をかけて、子どもたちの成長を見届けることが大事になつてくるし、またその過程に携わることに、とてもやりがいを感じています。

**今後の活動に向けた
意気込みを教えてください！**

来年以降も「子どもまつり」をはじめ、百人一首やミニバスケット、キックベースなどの大会行事やイベントを長く続けていきたいです。子どもたちには、遊びいろんな経験をしてもらえたたらと思います。何事も、経験が何よりも成長材料になりますからね！

今日も笑顔で
頑張りやあ～よ

地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身 野口暢子



今回の取材で、初めて子どもまつりに入国しました！たくさんの店(村)があつて迷いました。そのなかで、知り合いのお子さんが木で出来た手作りのコースターを作ってくれました！木のぬくもりと優しさに心が癒されました！



子どもたちと話をするとき、常に笑顔を絶やさない佐藤さん。合言葉は「早寝！早起き！朝ごはん！」。この3つを守つて、のびのびと大きく育つてほしいと思いをお話しくださいました。

～地域の魅力発信中！～
赤平市地域おこし協力隊 Facebook

